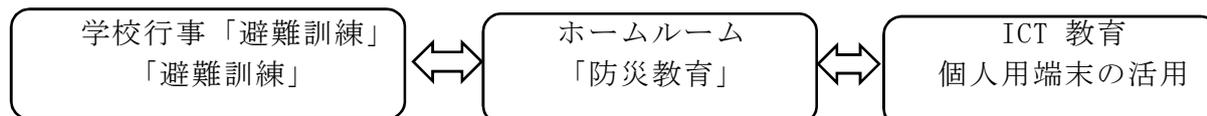


令和4年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業指導案

日 時 令和4年6月17日(金)
 時 間 2限(10:00~10:50)
 対 象 3年 総合農業科(35名)
 授業者 山下 良

- 1 題材名「くまもとマイタイムラインをつくろう」
- 2 カリキュラム・マネジメントの視点



- 3 時 間 1時間
- 4 ねらい 災害が起きた際、自分自身の命を守るための知識と行動を理解し、災害時に備えてマイタイムラインを作成する。また、家族や友人とどこで再開すれば良いかを決めておく大切さを理解する。
- 5 準備物 プレゼンスライド資料 個人用端末
- 6 展 開

	学習内容	○教師の支援 ◎指導のポイント
導入 5分	1 過去の災害を振り返る。 (1) 熊本の過去の災害を振り返る。 (2) 今年発生した災害を振り返る。 2 ねらいを説明する。 「危険を避けながらどこに避難するか」 「再会場所をどのように決めるか」 3 事前アンケートの結果を表示する。 (実施済み)	○教師の支援 ◎指導のポイント ○スライドで画像をPJで提示 過去の災害を振り返ることで、地震よりも水害の回数が多く、近年では毎年どこかの地域で災害が発生していることを知る。 ○令和2年7月豪雨で人吉地区が被災したことを振り返り、災害時の行動について説明する。 ○家族・知人との再会場所を決めている人が少ないことを指摘する。 ○他地域のハザードマップの紹介をする
展開 40分	4 熊本県の雨・災害の特徴を知る。 5 マイタイムラインの作成 (1) くまもとマイタイムラインを紹介する。	◎降雨の季節、時間帯について ◎災害発生の特徴について ◎人吉地区の地理について ◎自分自身の行動範囲について ○「くまもとマイタイムライン」とは、どのようなものなのかを画像を見せながら説明する。

<p>展開 40分</p>	<p>(2)避難先の決定と同時に危険箇所を確認し、避難時に近寄らない場所を把握する。</p> <p>(3)個人端末で資料を開き、自宅周辺の地理を確認し、それを元にマイタイムラインを作成していく。</p> <p>(4)生徒から1人もしくは2人、作成途中のものを表示してもらおう。</p> <p>6 作成したマイタイムラインを提出させる。クラスメイトのマイタイムラインを見て、自分が作成したものと比べてみる。</p>	<p>○熊本県のホームページを提示して、マイタイムラインの作成方法を示していく。</p> <p>○国土交通省が運営する「ハザードマップポータルサイト」を見ながら、一緒に作業を進める。</p> <p>○危険箇所を想定しながら、作業を進める。</p> <p>◎避難の方法（水平避難、垂直避難）や避難時の服装、予防的避難について説明する。</p> <p>◎避難場所を決めた理由を説明できるように考えさせる。</p> <p>○机間巡視しながら、説明・補足をする。発表の生徒を選ぶ</p> <p>◎自分の行動と異なる点や疑問に思った点を質問したり、説明したりするよう促す。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>7 数名にマイタイムラインの作成時に考えたこと、人と違う部分についての気づきを発表してもらおう。</p> <p>8 まとめ 今回作成したマイタイムラインを基に、家族と防災について話す機会をつくると同時に、災害時に適切な行動がとれるようになることを目指す。</p> <p>Formsによる内容確認</p>	<p>○立地、家族構成など条件が異なると行動が異なることを説明する。</p> <p>○生徒の発表内容の「気づき」に焦点を当て、十分に賞賛する。</p> <p>○授業を終えて未記入の部分は、家族と話し合いながら埋め、完成したら提出するよう指示する。</p> <p>○巡視を行ない、全員が提出できるように支援する。</p>